

職員の皆さん

令和 8 年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的な考え方

これまで皆さんと共に進めてきた取組により、人口の転入超過が過去 20 年で最大、観光入込客数・観光消費額も過去最大となるなど、好循環が生まれています。市民の皆様のため、そして、横浜の未来のため、この好循環を更に発展させ、より確かなものにしていきましょう。

本日公表の新たな中期計画の基本的方向では、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を戦略に掲げ、それを実現するための総合的な取組と、横浜を飛躍させる横断的なプロジェクトを位置付けています。

今後策定する中期計画に必要な施策をしっかりと盛り込むとともに、データに基づき、適切な KPI を設定し、徹底したスケジュール管理を行いながら、目標達成に向けた取組を確実に進めてください。

令和 8 年度は、計画初年度となる重要なスタートの年です。徹底的な市民目線に立ち、スピード感を持って取組を推進し、市民の皆様いち早く成果をお届けできるよう、予算案に反映してください。

これから、データドリブンプロジェクトをバージョンアップさせ、“データ駆動型経営”に本格移行します。すべての施策・事業を対象に、データに基づき課題・効果の検証を行い、政策の質と効果を高めながら、「創造と転換」による歳出改革・財源創出を進めていきます。“データ駆動型経営”は、「市民の皆様の実感」を評価の中心に据え、市民生活をより良くするための仕組みです。全ての区局の皆さんが自分事として、主体的に取り組んでください。

全ての政策の原点は、「市民目線」です。

外部環境がかつてないスピードで著しく変化する中で、市民サービスを充実させていくためには、より柔軟な発想と手法が必要です。

また、グローバル化が一層進展する中で、横浜の国際都市としてのブランド力を高め、「市民が世界に誇れる都市」とするためには、横浜ならではの魅力・ポテンシャルを世界水準のプレゼンスに結びつけていく意識を持ち、「世界目線」の政策を立案・実行していくことも必要です。あらゆる部署において、よりグローバルな視点を持って取組を進めてください。

8 年度末には、いよいよ「GREEN×EXPO 2027」が開幕します。EXPO の成功とその先のグリーン社会の実現に向けた勝負の 1 年です。多くの皆様に御来場いただき、横浜から世界へ力強くメッセージを発信できるよう、全区局が総力を挙げて取り組んでください。

どうぞよろしくお願いいたします。

横浜市長 山中竹春